

法政大学地理学会2026年度定期総会

会長講演・一般研究発表プログラム

2026年5月9日(土) 13:30~16:45

法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー13階 1300教室

会長講演

13:30~15:00

中村圭三(敬愛大学名誉教授)

「地理学論文の絵画表現の試み 自著論文を例として」

15:00~15:10 <休憩>

一般研究発表

15:10~15:55 前半(発表12分、質疑3分)

1 久我谷溪太

「先史・古代鎌倉低地の古地形(予察)」

2 齋藤圭・赤松秀亮

「大分県国東半島における水環境史の地理学—河川・地下水研究と歴史景観の接続—」

3 奥野 充・三浦大助・Agung Harijoko・Indranova Suhendro・

Haryo Edi Wibowo・松尾将紀・生野なつみ・門叶冬樹・南 雅代

「インドネシア、テンガー火山の新时期カルデラの14C年代測定」

15:55~16:15 ポスター発表 <休憩>

4 渡邊映乃・岡田知也・小松祐輝・増田駿

「湯川における中和事業の変遷」

5 田井嵐・佐藤芽衣・松浦耀平

「西の河原公園における地表面温度と気象要素の時間変化に関する観測と分析」

6 垣内祐輝・宇都宮慶・関香音・高村美羽

「湯畑の熱気による周辺環境への影響」

7 木川悠斗・呉結菜・上野優太

「草津温泉におけるハンセン病の歴史」

16:15~16:45 後半(発表12分、質疑3分)

8 竹内沙織

「萩地域における酒造メーカーと酒米生産者の連携形成過程と役割」

9 加藤美雄

「南極オゾンホール縮小と5月からの気象警報などの変更—気象庁の最新の動向」